

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 さわらび会

介護老人福祉施設 ブエナビスタ

介護老人福祉施設 ブエナビスタ (空床型短期入所)

# 【令和3年度 介護老人福祉施設 ブエナビスタ 事業報告】

## 1. 基本方針

### (1) 「生活の場」としての施設援助

令和3年度もコロナ禍の1年であったが、施設の基本理念「誠実な心、優しい心、進取の心で利用者の生活に「安心」をもたらします」をケアの基本とし、職員間で共有、再確認しながら入居者・ご家族に対しサービスの提供を実施した。

### (2) 個別ケアへの取り組み

新規入居された方に対して、これまで歩んでこられた生活歴やご本人・ご家族の意向に沿ったサービス計画書を作成、実施できるよう多職種協働にて取り組みを行った。施設プランの位置づけとしては以下の解決すべき課題に優先順位を設けた。

- ①生命に関すること
- ②ご利用者・ご家族の要望
- ③その他優先すべき解決課題

又、状態に変化（疾病、事故、褥瘡形成等）が見られた際、要介護度に変更があった際、入居者やご家族から希望があった際、期限が満了した際には担当者会を開催し検討した。

### (3) 職員研修の実施

個別ケアの特色を活かし、例年は施設理念である3つの心に沿ったケアサービスが発揮できるよう施設内研修を中心に取り組んできたが、コロナ禍に見舞われた（年度前半はデルタ株による第5波・後半はオミクロン株による第6波）今年度の全体会は、3密を避けクラスターを防止する意味から開催できず年度を終えた。ユニットケアの理解を始めとして、事故防止、高齢者虐待・身体拘束廃止、個人情報保護法等、項目別に担当者を設けて研修を計画していたが全て流れた。然しながら都度書面研修の形で可能な限り対応した。施設外研修では、前年度同様に会場開催型の研修は開催されず、その代わりにWebを活用した研修が実施された為積極的に参加させた。研修参加後は研修報告書を提出させその課題を通じて職員の意見聴取や課題の取り組みの実施に繋げ、ユニット内の入居者に対してケアの展開を図ってきた。来年度は従来のように会場に足を運んでの臨場感漂う研修が復活することを希求する。

### (4) チューター制度の確立

今年度、介護チューターが存在する事で、新入職員のオリエンテーションを始めとして介護技術の教育・指導及び他の職種との連携技術につきスムーズに理解させることができた。また、チューターの熱意により新人だけでなく実習生や経験年数の長い職員にも介護の持つ意味を理解させることが出来た。また、チューターが随時行う職員面談により、新人職員等が疑問に感じたこと・躓いたこと・聞きたくても遠慮して聞けなかった事等を確認することが出来、その報告が随時上長迄上がってきたことで、職員の動向を把握しやすくなり、更には「自己チェックシート採点表」による介護職員一人一人の能力評価が上がってくるようになり客観的な数値で比較できるようになったことは大きい。今後はその精度をより上げていくことを目指す。

## (5) 地域貢献

令和3年度も令和2年度と同様に地域の集会や行事に意欲的に参加することを目指したが、2年続いてコロナ禍で実現できず、毎年恒例のハロウィーン行事以外に参加することが出来なかった為、次年度コロナ禍も落ち着いてくれば、幼老共生施設の実現を目指すべく活動していく。

## 2. 介護方針

### (1) 離床対策

ご本人のニーズやご家族の希望も踏まえた生活状況の把握に努め、その方に応じた生活リズムを尊重しつつ、基本的には朝・昼・夕の食事・おやつは共同生活室にて摂取して頂いた。身体上、ADL等の状況により座位がとりにくい方に対してもリクライニング式車椅子を活用する等工夫し、離床時間を確保するように努めた。又、認知症によりご本人の判断が難しい方に対しても、日頃よりアセスメントを実施し適切な離床時間確保に努めるようユニット単位で協議を行った。困難事例に関してはユニット会議を通じて現場職員の意見を聴取し専門職の意見も踏まえ対応を行った。結果、食事以外の時間にユニット単位で余暇活動等を実施し、参加して頂いた。余暇活動内容（塗り絵、カラオケ、折り紙、書道、読書等）。

### (2) 認知症入居者への対応

事業計画では、施設内研修にて安岡チーフ代理が、テーマを「ユニットケアについて」とし勉強会を開催する予定であったが、コロナ禍により開催できずに終わった。内容としては、ユニットケアを理解し、認知症入居者の個性や生活リズムに沿ったケアができるように学習を進める予定であった為再度次年度に持ち越すこととなった。

### (3) 身体拘束ゼロ・虐待ゼロの推進

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会の安全対策担当者を中心に可能な限り開催し、各委員が作成した資料をもとに検討会を実施したが、デルタ株やオミクロン株そしてBA2といったコロナ禍により開催できなかった際は、各リーダーへ資料配布を行い書面研修の形で身体拘束廃止・虐待防止の理解に向けての研修を随時行った。又、現場で感じられた拘束の疑いのある(スピーチロック等)ケースにつき、ユニット会議で話し合い介護職員の資質向上に努めた。

この一年間では、2名の方が一時的に身体拘束の対象となった。最初の方は認知症により暴力行為が激しく他入居者様との共同生活が送れない状態が継続する為、ご家族承認の上で精神科のすずの木病院の処方による向精神薬を用いた行動制限を掛けさせていただいたケースです。この方の場合薬効がすぐれ暴力行為も収まり身体拘束が解除になりました。次の方はやはり認知症で上下肢片麻痺の為立ち上がると転倒の危険が非常に高く、ご家族も転倒を非常に心配されている方で、転倒防止のためご家族承認のもと床対応にすべく試みましたが、これはご本人が立ち上がりたい気持ちと相反する行為であり身体拘束に該当する為、思案した結果超低床ベッドの導入により身体拘束を解除することが出来ました。ブエナビスタでは介護と看護他多職種協働で、ミーティングや会議を重ねて身体拘束の必要性を認識し、ご家族の同意を得たうえで拘束を選択し、その結果入居者の安寧を維持することが出来ました。なおその経緯を記した議事録等は書面にて保管し、施設の全部署で回覧することで情報の共有化を図ることが出来ました。

#### (4) 在宅復帰

令和3年度は在宅復帰された方は1名でした。ブエナビスタで2年3ヶ月お世話させて頂いた方です。今後もカンファレンス時などご家族やご本人の意見を聞きながら、6ヵ月毎の担当者会を通じて在宅復帰が可能かを都度検討し、帰ることが出来る方は積極的に支援して参ります。

### 3. 生活援助方針

#### (1) 食事と栄養

毎日の食事内容について、食事時のラウンドを強化し職員・入居者からの意見の聞き取りを行った。それらの意見を汲み取り、委託業者と協議し出来る範囲で改善や意向を取り入れた食事提供を行った。

食事形態の基準を表に示して、多職種の職員間での情報共有を図り安全な食事提供に努めた。

入居者の介護度も上がり、現状の食事形態での提供の問題点を挙げ次年度は食事摂取が困難な入居者にもより安全で満足が得られる食事提供が出来るように食事形態の見直しを計画している。療養食の提供の充実の為多職種で連携し、入居者の健康管理が食事から出来るように新たに貧血食の導入を開始した。

例年の行事については、新型コロナの影響で今年度も全面的に中止となったが、入居者やご家族にも満足して頂けるように日々の献立でも季節感が感じられる食事提供を継続していく予定です。

#### (2) 口腔ケア

今年度は前年度と同じく、歯科医他多数の歯科スタッフからのコロナ感染を防止するため、義歯の再作成や調整及び口腔内治療が喫緊に必要な入居者を中心としたケアに重点を置いた。本来であれば提携先の荒川歯科の医師の指示のもと、歯科衛生士から指導を受けることで専門的なブラッシングを実行したり、定期的に口腔状態のチェックを実施するのが常であるが、3密の防止の観点から思うように進められず、それに代わり毎食後、口腔ケアを行い口腔内の清潔に務めることで、誤嚥性肺炎の予防に繋げるよう工夫した。来期コロナ禍が収まれば医療機関の力を積極的に導入する。

#### (3) レクリエーション・クラブ活動

コロナ禍の為、今年度も全体行事として敬老会の開催を中止せざるを得なかった。例年であれば、3階大会議室と共有スペースを全面開放し、ご家族も招き外部ボランティアのイベントで午前・午後と慰問して頂くのであるが、今年度もそれが叶わず次年度に持ち越しとなった。しかしながら食事に関しては、行事食を提供させて頂き皆様美味しいと喜んで頂きました。食後には紅白のお饅頭を提供させて頂きました。2019年に中国から始まった新型コロナ禍により今年度も殆どの行事を中止せざるを得ずお花見も外食レクもない環境の中で、入居者の皆様方には大変お気の毒な思いをさせていることに、本当に申し訳なく残念でなりません。年度末の二月には入居者様の3回目のワクチン接種が終了し、職員も徐々に接種が進んでいる状態です。コロナ禍はいつ収束するかまだ分からない状態ですが、一日も早い元の生活の復活を願うばかりです。

(4) 排泄ケア

ユニットリーダーが中心となり排泄表の作成により入居者個人の排泄パターンの把握に努め、適切な時間のオムツ交換に努めた。可能な範囲で紙パンツより布パンツにシフト出来るようご家族の協力を得ながらオムツ除去に努めた。

(5) 入浴ケア

週 2 回以上の入浴を基本に行った。個人のADLを把握し個浴、特浴のどちらが適切かを見極めケアに努めた。個浴に関してはマンツーマンでの介助とし、ゆっくり浴槽に浸かれる体制をとり入浴して頂いた。特浴に関しては基本 2 名の介助者により負担軽減を図りつつ「ゆっくり」と浴槽に浸かれる時間の確保に努めた。

(6) 個別機能訓練

機能訓練指導員が、入居者の身体状態に合わせた機能訓練計画書を一人一人個別に作成し、目標・目的に沿って実施した。個別機能訓練実施曜日としては、4 階＝月曜日（午前・午後）、3 階＝火曜日（午前・午後）、2 階＝水曜日（午前・午後）、1 階＝木曜日（午前・午後）、金曜日（全フロア）に実施。個別機能訓練及び集団体操。集団体操は月曜日から金曜日までうめぼし体操等のレク体操を実施し、日常生活での基本動作能力が現状よりも低下する事がないよう他職種との連携を持ちながら業務を遂行した。その他の業務として臥床ポジションの選定、介護職員への移乗介助指導、車椅子のシーティングを行った。利用者様の日常生活動作、基本動作能力の低下が起こらないように他の職種と連携を保ちながら上記業務を遂行した。

(7) 褥瘡予防ケア

入居時、退院時、入居後 3 ヶ月毎に OH スケールにて褥瘡の危険度判定を行い、高リスクの入居者については褥瘡委員会メンバーを中心として除圧や栄養面等から予防策について検討を行い褥瘡発生防止に努め、ユニットにおける日々のケアの実施に繋げた。その結果、令和 3 年度は前年度からの持ち越しの 1 名の方の褥瘡治療を継続し 7 月中に治癒した。しかし同月中に他の入居者 1 名が褥瘡発症したが、この方も 11 月中に治癒しその後年度末まで発生なし。令和 4 年度も褥瘡発生時には、早期に褥瘡ケア計画を作成してケアを実施し、早期治癒を目指す。

(8) 事故発生防止

介護事故報告書提出件数は 6 件であった。内訳は、骨折 3 件・裂傷 2 件・表皮剥離 1 件で、100 歳超 2 名・90 歳台 2 名・80 歳台 2 名。コロナ感染症も第 5 波、第 6 波に見舞われた為、3 密防止のため定例事故防止検討会を毎月実施出来なかった。しかし開催できなかった月は前月データの分析結果から導き出された防止対策を书面会議の形で全ユニットに展開して対応し、ヒヤリハットリスク 1、ヒヤリハットリスク 2 の件数を出しその内容の分析を行った。再発防止策が不十分の場合は、入居者の現状を会議の中で再分析し再発防止策の変更を行った。なお、事故発生時にはご家族への説明を迅速に行い、協力病院と連携を図り、早期受診を行う事で重篤化防止に努めた。

(9) ケアプラン

包括的自立支援プログラムを活用しケアプランを作成した。事前にご本人・ご家族の意向を聞き

取り、担当者会議への参加を促しながらケアプラン作成に努めた。不参加の場合は仮プランを事前に説明し対応した。プランニーズでは施設として①生命に関すること②ご入居者・ご家族の意向③その他優先すべき解決課題と優先順位を設け作成にあたった。解決すべき課題の取り組みやその他状態に変化が見られた際には随時担当者会議を開き、多職種協働のもとケアプランを作成した。ケアプラン内容は、出来る限りの状態維持・ADL向上・ご本人の希望が叶うよう多職種連携して目標設定を行っている。

#### (10) 看取り介護ケア

入居者に対し、医師が一般に認められている医学的見地に基づき回復の見込みがないと診断した場合に、その後のケア内容につき医師をはじめ看護職員・介護職員等多職種が協働で計画したものを、ご本人及びご家族に対し十分な説明を行い合意したうえで、「その人らしさ」をより尊重した介護として提供した。令和3年度は、19名の対象者を看取ることが出来、ご家族からも「大変お世話になりました。有難うございました」と労いのお言葉を頂きました。

#### 4. 医療と看護

入居時に何らかの既往症や疾患を有している入居者が少しでも苦痛なく、安心して生活ができる様に、協力病院である西部総合病院との連携を密に健康管理に努めた。日々一番身近でケアを行っている介護職員の気づきを大切にし、看護師は異常の早期発見、早期受診を心掛けている。また日頃から多職種間での情報交換を行い、ご家族の思いにも寄り添える医療的な援助が出来る様努めている。また感染症は新型コロナウイルスの罹患者が入居者では0名、職員が5名（9月度：1名、1月度：2名、2月度：1名、3月度：1名）全て家庭内感染で単発発生のためクラスターもなく入居者に影響はなかったが、家庭内で家族が次々と罹患する為自宅待機期間が長期化しユニット運営が非常に厳しくなった。次にインフルエンザの罹患者が入居者0名・職員0名であり、ノロウイルスに関しても同様であった。

5. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 現状

異動状況		男	女	計
R3.4.1	入居	13	18	31
～ R4.3.31	退居	12	22	34
年齢構成	～64	1	0	1
	65～69	0	0	0
	70～74	2	2	4
	75～79	1	3	4
	80～84	10	15	25
	85～89	5	19	24
	90～94	4	19	23
	95～99	1	6	7
100～	0	1	1	
R4.3.31現在	計	24	65	89

(2) 入退居の状況（期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日）

月	入居前の状況			入居者数 計	退去者の状況					退居者数 計	月末 在籍 者数
	在宅	医療 機関	老健そ の他か らの転 入		社会 復帰	家庭 復帰	医療機 関入院	その他 施設等 への転 出	死亡		
4	2	1	0	3	0	0	0	0	2	2	93
5	0	1	0	1	0	0	0	0	3	3	91
6	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	90
7	1	2	1	4	0	0	0	0	4	4	90
8	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	90
9	1	3	1	5	0	0	0	0	4	4	91
10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	89
11	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	83
12	1	1	2	4	0	0	0	0	3	3	84
1	1	4	0	5	0	0	1	0	1	2	87
2	4	1	0	5	0	0	0	0	1	1	91
3	0	1	1	2	0	0	0	0	4	4	89
計				31	計					34	

(3) 利用者の生活状況（令和4年3月31日現在）

A 日常生活動作状況（在籍者：89名）

		人数	%
移動	自立	10	11.2
	一部介助	9	10.1
	車椅子	70	78.7
	計	89	100.0
排泄	自立	7	7.9
	一部介助	31	34.8
	車椅子	51	57.3
	計	89	100.0
食事	自立	38	42.7
	一部介助	16	18.0
	車椅子	35	39.3
	計	89	100.0
入浴	自立	3	3.4
	一部介助	39	43.8
	車椅子	47	52.8
	計	89	100.0
整容	自立	18	20.2
	一部介助	21	23.6
	車椅子	50	56.2
	計	89	100.0
寝返り	自立	37	41.6
	一部介助	13	14.6
	車椅子	39	43.8
	計	89	100.0
着脱衣	自立	8	9.0
	一部介助	32	36.0
	車椅子	49	55.1
	計	89	100.0



B 直接面会者状況

回数	男	女	計
0	0	0	0
1~2	0	0	0
3~4	0	0	0
5~6	0	0	0
7~8	0	0	0
9~10	0	0	0
11~12	0	0	0
13~	0	0	0
	0	0	0

※ 対象者：令和4年3月31日在籍者

※ 期 間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

(4) 外泊状況

回数	男	女	計
0	0	0	0
1~2	0	0	0
3~4	0	0	0
5~6	0	0	0
7~8	0	0	0
9~10	0	0	0
11~12	0	0	0
13~	0	0	0
	0	0	0

※対象者：令和4年3月31日在籍者

※期 間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

(5) 特養入所者状況、ショートの利用者状況

①【令和3年度のべ利用者数の月別推移】全96床

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入居者数	2,780	2,856	2,719	2,798	2,802	2,741	
稼働率	96.53	95.97	94.41	94.02	94.15	95.17	
ショート	0	0	0	0	0	0	
小計	2,780	2,856	2,719	2,798	2,802	2,741	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
入居者数	2,777	2,553	2,587	2,591	2,461	2,759	32,424
稼働率	93.31	88.65	86.93	87.06	91.56	92.71	92.53
ショート	0	0	0	0	0	0	0
小計	2,777	2,553	2,587	2,591	2,461	2,759	32424

②【年度別稼働率推移表】

(%)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均稼働率
入居	50.61	80.86	94.26	95.50	95.48	92.53	84.87
ショート	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 令和 3 年度行事実施報告

(備考)

月 1 回 \*誕生日会

毎 週 \*ユニット内にてカラオケ、塗り絵、書道その他レク

※印：中止案件

令和 3 年度も、コロナ禍のためにユニット内レクは実施できましたが、外出レクは悉く中止となりました。またボランティアの方の受け入れも出来ず、入居者を初めご家族様や職員も辛い一年となりました。

月	行 事
4	※お花見レク
	手作りポテトチップス
5	※端午の節句祭
	紙芝居、カラオケ
	母の日イベント・フラワーアレンジメント
	※合同ドライブ（薔薇園散策）
6	※父の日喫茶店
	カラオケ、石鹸作り、揚げ芋作り
7	※七夕（フラダンス）
	風鈴作り、うな井（土用の丑の日）
8	ユニット合同納涼祭
	※夏祭り（ビアガーデン）・防犯訓練・紙芝居
9	※暑気払い
	ユニット単位敬老会、紙芝居
10	※芋煮会・ハロウィーンレク
	スイートポテト作り・カラオケ
11	※別所沼公園・紅葉ツアー
12	ユニット単位クリスマス会
	※忘年会、餅つき大会
	年越しそば
1	※映画観賞会 七草粥
2	※節分豆まき・バレンタインレク
	チョコレートフォンデュを楽しもう
3	※全体レク（雛祭り）・桃の節句
	フルーツあんみつ作り

## 令和 3 年度 OJT（施設内研修）実績

— 介護老人福祉施設 ブエナビスタ —

※令和 3 年度は新型コロナ禍により、職員にも家庭内感染で数名罹患者が発生し、感染拡大防止のため全ての回につき開催中止となりました。

月 日	研修内容	担 当 者	出席人数
4 月 12.16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度事業計画について</li> <li>感染予防について</li> </ul>	山田施設長 感染症委員会	中止
5 月 10.14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄ケアについて</li> </ul>	ユニチャーム	中止
6 月 14.18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束廃止について</li> <li>ユニットケアについて</li> </ul>	山田施設長 安岡チーフ代理	中止
7 月 12.16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取りケアについて</li> </ul>	水上ドクター	中止
8 月 9.13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設に必要な医療知識について</li> </ul>	安田看護主任	中止
9 月 13.17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止について</li> <li>介護技術について</li> </ul>	事故防止委員会 北原機能訓練指導員	中止
10 月 12.15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染予防について</li> </ul>	感染症委員会	中止
11 月 8.12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護法について</li> <li>法令遵守について</li> </ul>	山田施設長	中止
12 月 13.17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症ケアについて</li> </ul>	ユニットリーダー	中止
1 月 11.14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>判例に見るリスクマネジメント</li> <li>接遇について</li> </ul>	山田施設長 永井ケアマネージャー	中止
2 月 14.18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>食について</li> <li>防災について</li> </ul>	庄司管理栄養士 防災委員会	中止
3 月 14.18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待・身体拘束防止について</li> <li>ケアプランについて</li> </ul>	事故防止委員会 永井ケアマネージャー	中止

## 令和3年度 ブエナビスタ外部研修受講実績

NO	施設外研修名	主催	R3 出席予定者	日程	参加の有無	報告書提出有無
1	接遇研修	埼玉県社会福祉協議会	新井千尋	8月30日	○	○
2	労務管理者研修	埼玉県社会福祉協議会	山田幸成	7月15日	○	○
3	スーパービジョン研修	埼玉県社会福祉協議会	木下春奈	7月13日	×	×
4	楽しめるレクリエーション研修	埼玉県社会福祉協議会	猪野聡美	4月	×	×
5	アンガーマネジメント研修	埼玉県社会福祉協議会	倉田邦博	5月	×	×
6	感染症基礎研修	埼玉県社会福祉協議会	安岡健悟	7月10日	○	○
7	福祉現場で必要な法律の基礎知識研修	埼玉県社会福祉協議会	近藤亜希	12月1日	×	×
8	人事管理者研修	埼玉県社会福祉協議会	山田幸成	12月26日	○	○
9	外国人雇用にに向けた研修	埼玉県社会福祉協議会	山田時彦	7月	×	×
10	摂食嚥下リハビリテーション初級研修	埼玉県社会福祉協議会	山本和加子	7月	×	×
11	虐待防止研修	埼玉県社会福祉協議会	深味強志	2月28日	×	×
12	ターミナルケア研修	埼玉県社会福祉協議会	安岡健悟	8月27日	○	○
13	人材育成研修	埼玉県社会福祉協議会	安岡健悟	8月6日	○	○
14	認知症ケア入門研修	埼玉県社会福祉協議会	笹岡亜弥	10月26日	×	×
15	チームビルディング研修	埼玉県社会福祉協議会	徳田猶亮	9月9日	○	○
16	感染症専門研修	埼玉県社会福祉協議会	窪内教之	9月27日	○	○
17	介護技術の基本「楽する介護」研修	埼玉県社会福祉協議会	新井真悟	9月	×	×
18	部下のモチベーションアップ研修	埼玉県社会福祉協議会	上田雅己	10月	×	×
19	BCP(事業継続計画)研修	埼玉県社会福祉協議会	安岡健悟	7月27日	○	○
20	認知症ケア専門研修	埼玉県社会福祉協議会	高橋樹	11月2日	×	×
21	クレーム対応研修	埼玉県社会福祉協議会	上田雅己	9月16日	○	○
22	口腔ケア研修	埼玉県社会福祉協議会	尼子夏希	12月2日	○	○
23	介護職員のための医療・薬の基礎知識	埼玉県社会福祉協議会	鈴木夢子	11月2日	×	×
24	リスクマネジメント研修	埼玉県社会福祉協議会	米山千賀	11月9日	×	×
25	摂食嚥下リハビリテーション実践研修	埼玉県社会福祉協議会	岩井亮	12月	×	×
26	話し方・折衝・交渉力向上研修	埼玉県社会福祉協議会	宮内裕清	9月8日	×	×
27	業務改善研修	埼玉県社会福祉協議会	鬼塚智	2月	×	×
28	ファシリテーション研修	埼玉県社会福祉協議会	野呂えみ子	12月	×	×
29	レジリエンス研修	埼玉県社会福祉協議会	渡邊陽夏	11月11日	○	○
30	危機管理対策研修	埼玉県老人福祉施設協議会	山田幸成	9月29日	○	○
31	新型コロナウイルス感染症対策について	さいたま市民医療センター	山田時彦	5月8日	○	○
32	介護職員研修会(身体拘束)	埼玉県老人福祉施設協議会	上田雅己	10月18日	○	○
33	安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	大崎剛	6月1日	○	○
34	栄養士研修会(嚥下調整食の調理のコツ)	さいたま市保健所	庄司記子	7月13日	○	○
35	事務員研修会(パワーハラスメント研修)	埼玉県老人福祉施設協議会	山田幸成	11月12日	○	○
36	腰痛を回避する介助方法と腰痛防止対策	埼玉県理学療法士会	安岡健悟	12月18日	○	○

## 介護老人福祉施設ブエナビスタ：令和3年度事業報告要約

- 身体拘束事例・・・2件（身体拘束の3要件具備）      ○虐待事例・・・0件
- 在宅復帰者・・・1名
- 褥瘡予防・・・褥瘡発生者2名で、年度末は0名
- 事故発生・・・行政報告件数6件（命に係わる事故無し）
- 感染症・・・ア）インフルエンザ 職員0名・入居者共に0名  
イ）ノロウイルス 職員・入居者共に0名  
ウ）新型コロナウイルス 職員5名・入居者0名
- 看取り介護・・・看取り者数19名
- 苦情・・・0件
- 防災訓練・・・2回（令和3年9月30日・令和4年3月24日）
- 年間稼働率・・・92.5%
- 職員の入退職
  - ①入職：正職5名・パート5名・派遣14名
  - ②退職：正職12名・パート1名・派遣6名